



井戸様、

2日目(11日)の状況報告です。

昨日できなかった、Planning Managerへのプレゼンを行いました。

上長への上申をしてくれること、ス・チームとプロジェクトを詰めることで了解されました。

あげられた懸念は以下の通りです。

水道局として、不特定多数の未確認原水を恒久的に進めることはできない。あくまで、急場の措置として、未確認原水のリスクを了解して使用する必要がある。上層部が同意するかは、定かでない。

です。米園などの資料からも、兵士が緊急打開策として「延命のために使用する」こと。また、原水を確認した市水道に注入する事例はあっても、不特定多数の原水で事故がないという情報はありませんでしたので、そこを強く押すことは難しくなっています。口に入るものであり、水道局ではリスクを回避したいのです。その判断をだれが、どのように下すかで、今後の行方が左右されるようです。

一方、見込みのあることとしては、給水車と遠くまで向けるが、残留塩素の低下をきたしている。これには、有効的に使えるようだ。

方法としては、給水車に取り付ける上申書にすることも可能ですが、それで、「津波救援」に当たるかです。それをからむアイデアで提案することかなと思います。

井戸様、

いつも迅速な対応をありがとうございます。

第一目の状況をご報告いたします。

説明相手： エンジニア・チーム5名。 技術開発部長

結果： 全て、予定通り運び、PPTによる説明と、機械による実演を行いました。

午後は、塩水を作成し、実験しました。

150g/5LでMIOXを作りましたが、Meterが1.4を指しましたので、1L水を加えました。

1.2位までは下がりましたが、希釈している内に、5Lは殆どなくなりました。

MIOXから塩素を皆嗅いで、納得しました。

汚染水(汚染度を計測設備は、オフィスにはない)に、試験紙を入れ、反応しないことを確認。

7mg/Lに希釈すべく、MIOX液2mLを、汚染水50mLに注入。5分後、同紙で測定し、見本通りになったことを確認。

素手をMIOX液に入れましたが、1.0分ほどで、荒れてきたのが分かり、水で洗いました。

このように、技術実働部隊は、基本的に納得し、他の課に、水質試験をする手続きをしています。

残念ながら、Projectを推進するManagerには達えませんでしたので、今日の進展はここまでです。明日、当人に同様のプレゼンとデモを実施し、次のステップのお伺いをたてようと思います。

以上ですが、Meterが期待の1.0よりかなり高く出ました。濃度は3%のはずなのですが、何か、やり方に問題がありますか？

Bunji Saito 011-2698640 / 0777-652512

齋藤 文司 010-94-11-2698640(コロンボ)